



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮川 尚久
 (氏名) 酒井 宏之

TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	122,327	△4.1	5,952	△7.3	4,730	△19.6	3,625	17.6
27年3月期第3四半期	127,502	8.2	6,422	44.3	5,880	45.8	3,083	29.9

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 2,568百万円 (△45.9%) 27年3月期第3四半期 4,751百万円 (△31.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	8.97	—
27年3月期第3四半期	7.63	7.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	204,460	71,055	33.9
27年3月期	207,317	70,581	33.2

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 69,280百万円 27年3月期 68,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,500	△6.4	7,500	△16.0	6,000	△9.1	4,000	△59.2	9.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	404,455,680 株	27年3月期	404,455,680 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	392,875 株	27年3月期	373,806 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	404,076,227 株	27年3月期3Q	404,118,584 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
平成28年3月期 第3四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～同年12月31日)の我が国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景に、企業収益に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いていましたが、平成27年10月頃から一部に弱さがみられるようになり、また、中国経済の減速など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクには注意を要する状況でした。

このような経済状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,223億27百万円(対前年同期比51億74百万円減)、営業利益は、59億52百万円(対前年同期比4億70百万円減)となりました。売上高は、金属部門、産業機械部門、電子部門、ユニック部門で減収となり、産業機械部門、ユニック部門、電子部門の減収を主因として、営業利益も減益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門では、ポンプ製品は好調でしたが、官需向け橋梁、被災地における高台移転工事(土砂の運搬は平成27年9月中旬で完了しました。)については減収となり、売上高は、97億16百万円(対前年同期比25億70百万円減)、営業利益は、3億48百万円(対前年同期比6億92百万円減)となりました。

ロックドリル部門では、国内向けは、インフラ投資需要の先行きに対する不透明感は払拭されず、油圧ブレーカ、圧砕機は売上を伸ばすことができませんでしたが、東北復興工事がピークを迎えていることにより、トンネルドリルジャンボ関連の売上は順調に推移しました。海外向けは、油圧ブレーカについては、北米、欧州で、油圧クローラドリルについては、中近東、アフリカ、東南アジアを中心に好調でした。売上高は、232億59百万円(対前年同期比8億86百万円増)、営業利益は、16億31百万円(対前年同期比7億28百万円増)となりました。

ユニック部門では、ミニ・クローラクレーンや船舶架装用クレーンの出荷を伸ばすことができましたが、主要製品であるユニッククレーンの出荷は、一般的に需要が軟調に推移したこともあって伸び悩み、売上高は、203億59百万円(対前年同期比2億95百万円減)、営業利益は、20億97百万円(対前年同期比4億93百万円減)となりました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械3部門合計の売上高は、533億35百万円(対前年同期比19億79百万円減)、営業利益は、40億78百万円(対前年同期比4億57百万円減)となりました。

金属部門では、海外相場の下落に加え、伸銅品、電線需要の低迷もあって、電気銅の売上高は大幅に減少しました。金属部門全体の売上高は、574億89百万円(対前年同期比33億86百万円減)、営業利益は、11億57百万円(対前年同期比14百万円増)となりました。

電子部門では、主力の高純度金属ヒ素は、原発事故風評被害の影響で、未だ苦戦が続き、結晶製品の売上も低迷しました。コイル製品については、増収となりましたが、採算は大幅に悪化しました。売上高は、40億94百万円(対前年同期比3億46百万円減)、営業損失は、2億78百万円(前年同期は1億1百万円の利益)となりました。

化成品部門の売上高は、45億38百万円(対前年同期比23百万円増)、営業利益は、1億48百万円(対前年同期比50百万円減)となりました。

不動産部門では、平成26年2月に竣工した室町古河三井ビルディング(商業施設名: COREDO室町2)の賃貸事業が本格稼働となり、売上高は、22億83百万円(対前年同期比5億4百万円増)、営業利益は、9億70百万円(対前年同期比4億33百万円増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、47億30百万円(対前年同期比11億49百万円減)となりました。特別利益に、固定資産売却益2億98百万円、受取補償金3億91百万円ほか、特別損失に減損損失2億6百万円ほかを計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、36億25百万円(対前年同期比5億41百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,044億60百万円で、前連結会計年度末に比べ28億57百万円減少しました。これは主として、上場株式の株価下落による投資有価証券の減によるものです。有利子負債(借入金)は、816億39百万円で、前連結会計年度末に比べ、4億13百万円減少しました。純資産は、710億55百万円で、前連結会計年度末に比べ4億73百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回(平成27年11月6日)発表の業績予想における前提を、下期では、銅価5,300米ドル/トン、為替120円/米ドルとしていましたが、直近の動向を考慮し、第4四半期では、銅価を4,370米ドル/トン、為替を118円/米ドルへ変更しました。金属部門では、銅価の下落により減収となる見込みです。産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、電子部門についても、直近の状況を踏まえ、売上高を下方修正しています。これにより、連結全体の売上高を下方修正いたします。また、産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門、金属部門、電子部門の営業利益を下方修正しています。これにより、連結全体の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても下方修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を利益剰余金として計上しております。また、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末の利益剰余金に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,716	13,838
受取手形及び売掛金	24,757	24,037
商品及び製品	14,440	13,841
仕掛品	8,273	8,609
原材料及び貯蔵品	11,152	13,017
その他	6,431	7,697
貸倒引当金	△208	△284
流動資産合計	80,564	80,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,888	21,171
土地	55,300	55,057
その他(純額)	8,987	9,283
有形固定資産合計	86,177	85,511
無形固定資産	184	163
投資その他の資産		
投資有価証券	34,997	32,489
その他	6,109	6,253
貸倒引当金	△715	△714
投資その他の資産合計	40,391	38,027
固定資産合計	126,753	123,703
資産合計	207,317	204,460

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,098	10,468
電子記録債務	8,482	10,093
短期借入金	28,408	28,572
未払法人税等	876	181
引当金	981	92
その他	13,021	11,171
流動負債合計	63,870	60,579
固定負債		
長期借入金	53,644	53,067
引当金	1,686	1,677
退職給付に係る負債	6,874	7,287
資産除去債務	209	212
その他	10,450	10,579
固定負債合計	72,865	72,824
負債合計	136,735	133,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	30,257	32,036
自己株式	△57	△62
株主資本合計	58,408	60,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,427	8,192
繰延ヘッジ損益	△234	△36
土地再評価差額金	3,654	3,485
為替換算調整勘定	1,262	642
退職給付に係る調整累計額	△3,735	△3,185
その他の包括利益累計額合計	10,375	9,097
新株予約権	53	—
非支配株主持分	1,745	1,775
純資産合計	70,581	71,055
負債純資産合計	207,317	204,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	127,502	122,327
売上原価	108,663	103,265
売上総利益	18,839	19,061
販売費及び一般管理費	12,416	13,109
営業利益	6,422	5,952
営業外収益		
受取配当金	379	452
その他	746	395
営業外収益合計	1,126	848
営業外費用		
支払利息	704	619
休鉱山管理費	418	438
為替差損	—	450
その他	545	561
営業外費用合計	1,668	2,070
経常利益	5,880	4,730
特別利益		
固定資産売却益	103	298
受取補償金	809	391
事業譲渡益	529	—
その他	—	0
特別利益合計	1,442	689
特別損失		
固定資産除売却損	37	59
減損損失	70	206
その他	0	11
特別損失合計	108	277
税金等調整前四半期純利益	7,214	5,142
法人税、住民税及び事業税	4,231	894
法人税等調整額	△191	550
法人税等合計	4,040	1,444
四半期純利益	3,174	3,697
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	72
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,083	3,625

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	3,174	3,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,402	△1,236
繰延ヘッジ損益	△509	203
土地再評価差額金	—	4
為替換算調整勘定	165	△238
退職給付に係る調整額	513	549
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△411
その他の包括利益合計	1,577	△1,128
四半期包括利益	4,751	2,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,645	2,522
非支配株主に係る四半期包括利益	106	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	12,286	22,372	20,654	60,876	4,441	4,515
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,136	7	74	275	4	38
計	14,422	22,380	20,729	61,152	4,445	4,553
セグメント利益又は損失 (△)	1,041	902	2,591	1,143	101	198

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,779	126,926	576	127,502	—	127,502
セグメント間の 内部売上高又は振替高	101	2,638	1,237	3,875	△3,875	—
計	1,880	129,564	1,814	131,378	△3,875	127,502
セグメント利益又は損失 (△)	537	6,516	△76	6,440	△17	6,422

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△64百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	9,716	23,259	20,359	57,489	4,094	4,538
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,064	5	70	276	53	41
計	11,780	23,265	20,429	57,766	4,148	4,580
セグメント利益又は損失 (△)	348	1,631	2,097	1,157	△278	148

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,283	121,741	585	122,327	—	122,327
セグメント間の 内部売上高又は振替高	100	2,613	1,208	3,822	△3,822	—
計	2,384	124,355	1,794	126,149	△3,822	122,327
セグメント利益又は損失 (△)	970	6,077	△52	6,024	△72	5,952

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第3四半期累計決算 \$/mt	5,397	1,403
	年度予想 \$/mt	5,140	1,414
為替	第3四半期累計決算 円/\$	121.7	14.8
	年度予想 円/\$	120.7	10.8

平成28年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2016年2月5日

古河機械金属株式会社

(売上高)

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械部門	55,314	53,335	1,979
(産業機械)	(12,286)	(9,716)	(2,570)
(ロックドリル)	(22,372)	(23,259)	(886)
(ユニック)	(20,654)	(20,359)	(295)
金属部門	60,876	57,489	3,386
電子部門	4,441	4,094	346
化成品部門	4,515	4,538	23
不動産部門	1,779	2,283	504
その他	576	585	9
【合計】	127,502	122,327	5,174

平成28年3月期	
年度予想	対前年増減
73,200	2,790
(15,400)	(1,312)
(29,900)	(1,010)
(27,900)	(467)
73,200	8,313
5,400	343
6,000	13
3,000	464
700	47
161,500	11,044

(営業利益)

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械部門	4,536	4,078	457
(産業機械)	(1,041)	(348)	(692)
(ロックドリル)	(902)	(1,631)	(728)
(ユニック)	(2,591)	(2,097)	(493)
金属部門	1,143	1,157	14
電子部門	101	278	379
化成品部門	198	148	50
不動産部門	537	970	433
その他	76	52	23
(計)	6,440	6,024	415
調整額	17	72	54
【合計】	6,422	5,952	470

平成28年3月期	
年度予想	対前年増減
5,800	751
(1,100)	(611)
(1,700)	(474)
(3,000)	(614)
900	549
400	452
200	67
1,200	423
76	54
7,624	1,344
124	81
7,500	1,425